

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1298600063		
法人名	社会福祉法人 つばさ		
事業所名	たけんこグループホーム		
所在地	〒298-0025 千葉県いすみ市山田5897番地		
自己評価作成日	平成27年2月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成27年3月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>オープンして2年弱で、まだまだ足踏み状態ですが、内部スタッフを充実させ、入居者が安心して生活できるグループホームを作り上げたいと思いつつ、日々努力をしています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「共生ホーム たけんこ」は見晴らしの良い丘の上に建てられ、のどかな自然に囲まれた環境の中にある。デイサービス・障がい者グループホームが併設されており、デイサービス利用者との交流等が行われ、入居者の生活の活性化を図っている。施設開設2年目である事から、地域や家族とのコミュニケーションを図るよう努めており、運営推進会議を行事・食事会と同時に行う等の工夫をし、施設の活動状況・方針等を理解してもらえるよう努めている。また、消防避難訓練を年4回実施しており、様々な状況に合わせた避難方法の確認を行い、職員の意識向上を図っている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は出勤時入口にて掲示してある理念を復唱する様にしている	「自立支援」を主眼においた施設理念を掲げており、事業所内に掲示している。職員に対し、業務に入る前に必ず理念を確認するよう指導しており、理念の周知・浸透に努めている。また、運営推進会議等で理念の説明を行い、外部への周知を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日常的な交流は難しいが一回/年の案山子祭りには参加している	地域行事への参加を行うと共に、地域ボランティアの受け入れを行っており、地域との交流を図っている。また、併設のデイサービスとは、日頃の訪問や合同行事を実施しており、交流を図っている。	施設は地域から独立した環境にあるため、近隣との距離が離れてしまっているが、今後は、運営推進会議において、民生委員や地域区長等と交流を図ると共に、日頃の挨拶・声掛けを継続的に行い、地域の認知度向上に取り組みで頂く事を期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	未実施		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回の運営推進会議の席で施設での生活状況等に付き話し合いを行っている	運営推進会議は年6回の開催を計画しており、市職員・民生委員・家族等が出席している。会議では、施設活動報告や意見・情報交換を行い、施設理解の促進及びサービスの質の向上を図っている。また、ミニ勉強会を行い、福祉や認知症の理解を深めると共に、行事等を同時に行い、コミュニケーションや楽しみの共有に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の席に同席して頂きホームの情報や困難ケースについて相談している	日頃から市に対して、業務における相談や報告を行い、連携を図っている。また、定期的に空き情報や入居者の状況を報告し、市と情報の共有を図っている。	

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修を積極的に受講して貰いケア会議の席で参加者に報告し身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除における研修参加・報告会を通じて、職員への理解を深めている。また、入居者の状況や支援方法を会議にて周知・検討し、自由な生活に向けた支援方法の統一に努めている。	今後は、身体拘束排除・虐待防止等を含めたマニュアル整備を進める事により、職員への理解促進及び適切な支援方法・知識向上に向けた取り組みを行って頂く事を望みます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の利用者との関わりの中で身体的・精神的虐待が行われない様に職員全員で注意し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	未実施		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定等に付いては事前に運営推進会議にて説明し具体的内容が明確になって際には文章にてお知らせする		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議では、必ず家族からの意見を頂く様にし、意見を取り入れる様に努めている。	家族の訪問時・電話連絡時・運営推進会議等を活用して、直接意見・要望を確認している。また、定期的に写真等を送付し、施設での様子を伝えている。挙げた意見・要望においては、会議・連絡ノートを活用して、周知・検討の上、適切な改善を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	未実施	定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案等を確認している。また、法人内でも定期的に開催しており、管理者が出席し、現場の意見を法人幹部に伝えられる仕組みができています。	外部研修の参加・内部研修の実施以外にも、職員間で検討し、必要の際には、マニュアル整備を図った上で、より高度な介護技術の習得・統一したケアに向けた取り組みをして頂く事を期待します。

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	未実施		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修を自ら受講する様に働きかけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	未実施		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所してから、少しずつ時間を共にしながら、ゆっくりと安心できる関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の際に、ご家族との話し合いを十分に実施し、ご家族が安心して入居を決められる様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護プランを作成しながら、優先順位を考えて実施している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、趣味や出来る事を把握しながら入居者同士助け合っています。		

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族連絡を実施しながら、面会や外出の支援を実施しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達の面会を受け入れ、共に話し合いに参加して、今後の面会をお願いしれています。	友人・知人・家族の来訪は希望に応じて随時受け付けており、馴染みの関係継続に向けた支援を行っている。また、併設デイサービスのレクリエーションに参加する等、新たな馴染みの関係構築を支援している。希望に応じて、地域行事への参加・外出等を実施しており、馴染みの場での楽しみを提供している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクを実施しながら、皆で助け合う事が出来る環境作りを実施しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院した時には、お見舞いに行ったり、自宅に帰った場合は介護相談や医師連絡も実施し家族支援に取り組んでいます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向が一番という、方針でいます。	契約時に、本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認していると共に、医療機関や他サービス事業所からも情報提供を受けており、より詳細な情報の把握に努めている。新しい情報は、会議や連絡ノートにて、周知し、職員間での情報共有を図っている。	

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族やケアマネ等から情報収集し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の個々の状態で、レクや食事等にも支援を変えて実施しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月実施しているケア会議で、話し合い介護計画を作成して実施に取り組んでいます。	本人・家族の意向を踏まえ、会議で検討しながら介護計画を作成している。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行い、必要に応じて、介護計画の見直しを行っている。また、計画作成後は、別紙で介護計画の内容を詳細にわかりやすく記載したものを作成しており、職員が介護計画に基づく支援を理解できるよう工夫している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護支援経過表を使い、入居者の状況をスタッフで共有し介護支援に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医院の導入や薬剤師の導入を実施しながら施設で出来ないサービスを実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	未実施		

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の往診や受診時には、医師と連携を取りながら支援しています。	希望のかかりつけ医への受診及び内科医・歯科医の往診を受診しており、適切な受診支援がなされている。また、看護師職員を配置しており、適切な健康管理がなされている。往診記録や医療に関わる情報をノートにてまとめており、情報共有及び医療機関との情報交換に活用している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護は実施されていないが、施設内看護師との相談は常時実施される体制になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーの実施や病院に出向いての話し合いを実施して、より良い関係づくりに取り組んでいます。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	未実施	契約時に終末期・重度化に関する施設方針等を説明しており、同意を得ていると共に、延命処置の希望も確認している。必要時には、家族との話し合いを行いながら、医療機関や他施設とも連携し、適切な支援が行えるよう協力体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急法の研修会に参加可能なスタッフは参加して、救急時の対応を学んでいます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を消防署の指導の元、年4回の計画で実施しています。	スプリンクラー・自動通報機・火災報知器等の消防設備を設置していると共に、年4回の避難訓練を実施している。訓練では、消防署立会い訓練・併設施設との合同訓練等を実施しており、適切な避難方法の確認を行っている。また、運営推進会議にて、避難訓練の報告を行っており、地域への協力を呼び掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に日々の支援の中で、注意しながら実施を心掛けています。	法人の心得を全職員に配布しており、接遇・法令順守の意義を職員へ周知している。各居室に収納スペースが設置されており、プライバシーに配慮している。	今後は、個人情報保護・接遇・プライバシー保護等に関する研修の実施を行うと共に、法人の心得の読み合わせまたは、研修を実施する事により、職員に対する継続的な理解促進を促して頂く事を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に日々の支援の中で、注意しながら実施を心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のタイムスケジュールにこだわらず、本人の希望にそった支援を心掛けるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族が持参した衣服をスタッフが上手に合わせて着用できる支援を実施しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が献立を入居者の好みで作成しています。しかし、当施設では一緒に準備や片付けを実施することが出来ません。	入居者の希望や能力に合わせて食事の準備から片付けまでを共同で行っている。平日の昼食は、近隣の障がい者施設にて調理している。それ以外の食事は、職員が食材の買い出し・献立の作成を行っており、季節感や入居者の嗜好に配慮した食事提供を行っている。定期的に、外食行事や特別職を企画・実施しており、食に対する楽しみを支援している。その他にも、家族や外部の人を交えた食事会等を実施しており、食事を介したコミュニケーションを図っている。	

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体重や食事量にあわせて、決めて食事支援を実施しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を作成し記録する事により、個々の排泄パターンを把握しながら、排泄の自立支援を行っています。	排泄チェックリストを活用しながら、個々のパターンを把握しており、声掛け・トイレ誘導にて排泄の自立に向けた支援を行っている。また、水分摂取の励行・乳製品の提供等を行い、自然排便を促すと共に、看護師・医師と相談しながら適切な排便コントロールを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事に根菜類、きのこ類をとりいれたり、起床時の牛乳摂取を実施し便秘予防を実施しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴については一応決まりを設けていますが、声掛けや希望で実施しています。	入居者の体調や希望に応じて、柔軟に対応し、適切な入浴機会を設けている。また、必要に応じて、清拭・シャワー浴・部分浴を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡の好きな人には、午睡を取り入れ、しない人はレクを実施して、自由にしてしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師の指示の元間違いが無いように実施しています。服薬チェック表を記録しています。		

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみごとの支援は、日々実施に努めています。また役割については現在少しずつ出来るようになってきました。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は行事としての外出、また庭の散歩程度の支援にとどまっています。	日頃から散歩や買い物等を実施しており、戸外に出る機会を設けている。また、定期的に外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。施設は、見晴らしの良い丘にあり、施設敷地内の散歩や庭での園芸を通じて、入居者の気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	未実施		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用を希望する入居者はいませんが、お手紙を書いた時には投函の支援等実施しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の壁には入居者の作品や写真を貼って、居心地良く生活できるよう考慮しています。	共有スペースには、椅子・ソファ・テーブルが設置されており、居心地良く生活できる環境整備がなされている。また、両ユニットの間に多目的ホールが設置されており、ボランティアの発表や行事等に活用し、楽しみを提供できる場となっている。また、アイランド型キッチンを設置等、死角の少ない設計となっており、安全確保に配慮している。	

【千葉県】たけんこグループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にソファを設置し自由に座ってお話ができる様にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室については、制限する事無く自宅の様に頂くよう家族にも話、自由に使っています。	本人・家族の希望に応じて、馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、安心して生活できるよう配慮している。また、ポタブルトイレやテレビの設置・布団を敷く事が可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。各居室に鍵・収納スペースが設置されており、プライバシーの確保がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援をめざし、危険のない限り制約せず生活できるよう支援しています。		